

オー砂の恐竜大興奮

あさひ砂の彫刻美術展2016「砂の大恐竜展」





砂の大恐竜展が、旭文化の杜公園ふれあい広場で7月16日から8月7日にかけて行われました。地域の活力を生み出すイベントを表彰する「ふるさとイベント大賞」で全国表彰されたこのイベントも今年で11回目。国内外のプロ制作者や地元高校生、市民などにより制作された迫力ある作品23点が展示されました。今年は恐竜をテーマに開催され、実物大のティラノサウルスをはじめ、スピノサウルス、アロサウルス、トリケラトプスなどの砂像が並んだ会場は、6万人を超える大勢の家族連れや子どもたちなどでにぎわいました。



①砂の恐竜の迫力に驚く子どもたち
②ティラノサウルスの鋭いまなざし
③スピノサウルスとプテラノドンの前でポーズをとる親子④⑤恐竜になりきる子どもたち⑥恐竜の模型を手に「ニッコリ」⑦入場ゲートは恐竜の世界への入り口⑧大盛況の発掘体験⑨⑩3D恐竜展では「飛び出す恐竜」にくぎ付け⑪全長12mのティラノサウルスの前で「ガオーッ」⑫精巧な砂像が立ち並び会場



砂に込められた魂

あさひ砂の彫刻美術展 2016「砂の大恐竜展」
実行委員長 林和義さん

砂の彫刻には計り知れない、人を魅了する力があります。それは「人から砂に魂が吹き込まれているから」ではないでしょうか。

今回、大恐竜展を総合演出していただいた保坂俊彦さんをはじめ、多くのサウンドアーティストの皆さんに砂像へ魂を吹き込んでいただきました。そしてたくさんの砂の魂たちが、私たち一人一人を感動に導いてくれました。あらためて制作者と会場に足を運んでくれた皆さんに感謝致します。